

### 3 学年 4 組 図画工作科指導と評価の案

日時：11月14日（月）第5校時 授業者：峠 しげみ 場所：図工室

1. 題材名： ゆらゆら ゆれて （絵や立体に表す）
2. 本時の目標：いろいろな材料を糸で吊るしたり切って貼り付けたりして、材料のよさが生かされるよう、つけ方を工夫してきれいな魚をつくる。
3. 本時の評価規準：選んだ材料を、糸で吊るす、切って貼るなど、材料のよさが表れるようにつけ方を工夫して表す。  
《創造的な技能》
4. 児童の実態：
 

学ぶ意欲：表したいという思いやこんな作品にしたいという願いは高まってきている。しかし、どんな材料を使ってどんな感じにしたいか具体的にイメージしたり話したりする力が十分育っていない。

学ぶ力：思いや願いに合わせて材料や用具を選び、工夫して表そうとする力がついてきている。しかし、もっとテーマに近づけるために積極的に学習コーナーや仲間の表現から学び取り、表現を追求しようとする点では弱さが見られる。

学び得た力：糸を結ぶ、針金を巻きつけるなど材料を扱う技能や木の実、ボタンなどをどのようにつけたらきれいに見えるかを考える力が十分でない。
5. 本時の展開（5／7時）

	学習活動	研究テーマ具現のための手立て														
つ か む	<p>1、思いやイメージをふくらます</p> <p>○どんな材料を使ってどんな感じにしたいかを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木の実を吊るしてゆれる感じを出したい。</li> <li>・金色のボタンでピカピカ光るうろこの感じを出したい。</li> </ul> <p>2、資料から考える</p> <p>○材料のつけ方の違う比較資料を用意してどちらがきれいに見えるか感想を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Aは、紙が大きいままつけてあってあんまりきれいに見えない。</li> <li>・Bは、紙を丸く切って貼ってあってきれいに見える。</li> </ul> <p>3、課題をつかむ</p> <p>○そのままの形を生かしたほうがきれいなものと形を変えて使ったほうがきれに見えるものがあることを確認して課題につなげる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>材料のよさが表れるようにつけ方（吊るす、貼る、切る、つなげる）を工夫してきれいな魚をつくろう。</p> </div>	<p>＜教科の学び方の明確化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話形に当てはめて自分の思いや表そうとしていることを話させることで、よりイメージをふくらませたり具体的なものにしたります。 <b>（研究内容Ⅲ－①）</b></li> </ul> <p>＜造形的なよさを実感できる作品提示の工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙を大きいままくっつけてあって紙のよさが生かされていない資料と紙を丸い形に切って毛糸に貼ってあり形が変えられるというよさを生かしている資料を比較させ、材料の持つよさを生かして表すことが大切であることに気付かせる。 <b>（研究内容Ⅱ－③）</b></li> </ul> <p>＜子どもの学習状況に応じた課題設定の工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料には、そのままの形で表した方がきれいなものと形を変えて表した方がきれいなものがあることをつかませ、針金に直接つけた方がきれいなものと糸で吊るした方がきれいなものがあることを確認し、材料のよさが表れるのはどちらの方法か考えて表すとよいことをつかませる。 <b>（研究内容Ⅲ－②）</b></li> </ul> <p>＜学習コーナーの設置＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 道具コーナー：グルーガン、きり、工作マット、カッター、などを用意して願いに合った表現ができるようにする。</li> <li>② 材料コーナー：使いたい材料で足りない分を補ったり新たに使いたい材料ができた時に選んだりできるようにする。</li> <li>③ 資料コーナー：表したい表現を選ぶことができるよう資料を用意する。</li> <li>④ お試しコーナー：扇風機を用意し、風で揺れる感じを試すことができるようにする。 <b>（研究内容Ⅲ－④）</b></li> </ol> <p>＜子どもの造形的なよさの価値付け＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導で一人一人のよさを認め励ます声かけをする。特に材料のよさを生かしたつけ方を工夫している子には、そのよさを価値付け、全体に広がるようにする。つまずいている子には、一緒につくったりよい表現方法を教えたりする。 <b>（研究内容Ⅳ－①）</b></li> </ul> <p>＜自己評価や相互評価の視点の明確化＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料のつけ方という言葉を使って評価をさせる。 <b>（研究内容Ⅳ－②）</b></li> </ul>														
／ 深 め る	<p>4、製作する</p> <p>○表したい感じに合わせてつけ方（吊るす、貼る）を工夫して表す。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th>木の実</th> <th>セロフ ァン</th> <th>ボタ ン</th> <th>紙</th> <th>リサイ クル品</th> <th>毛糸</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>つ け 方</td> <td>・吊るす</td> <td>・切る ・丸める ・吊るす ・一部を 貼る</td> <td>・吊るす ・針金を 通し て両 端を 固定</td> <td>・切る ・吊るす</td> <td>・吊るす</td> <td>・両端を 貼る ・一部 を貼 る</td> </tr> </tbody> </table>	材 料	木の実	セロフ ァン	ボタ ン	紙	リサイ クル品	毛糸	つ け 方	・吊るす	・切る ・丸める ・吊るす ・一部を 貼る	・吊るす ・針金を 通し て両 端を 固定	・切る ・吊るす	・吊るす	・両端を 貼る ・一部 を貼 る	
材 料	木の実	セロフ ァン	ボタ ン	紙	リサイ クル品	毛糸										
つ け 方	・吊るす	・切る ・丸める ・吊るす ・一部を 貼る	・吊るす ・針金を 通し て両 端を 固定	・切る ・吊るす	・吊るす	・両端を 貼る ・一部 を貼 る										
／ ふ り か え る	<p>5、仲間の作品を見る</p> <p>○仲間の作品を鑑賞し、よさを見つけ交流する。</p> <p>○材料のつけ方を工夫して効果的な表現ができていた子を取り上げ価値付ける。また、新たな材料の加工方法を見つけ出したり見本にはない表現をしている子がよい紹介をして価値付ける。</p> <p>6、自己評価をする</p> <p>製作を振り返り、自分の頑張りが表現のよさを実感したり次時の課題を持ったりする。</p>															

